

経営管理大学院開設記念式典を開催

大学院経営管理研究部・経営管理教育部(通称「京都大学経営管理大学院」)は本年4月、64名の学生を迎えて発足した。この開設を記念して、5月31日(水)に時計台記念館において開設記念式典および記念講演会が開催された。講師に稲盛和夫京セラ名誉会長を迎えて、「経営者のあり方」と題して講演が行われた。経営者のあり方として、経営者のビジョン・ミッションを従業員と共有すること、経営者には高い人格が求められるなど経営の実体験に基づき話され、約250名の来聴者に深い感動を与えた。引き続いて挙行された記念式典には、村田純一京都商工会議所会頭はじめ京都大阪の経済界からの来賓、学内関係者、第一期の経営管理大学院生など約160名の出席があり、吉田和男経営管理研究部長の式辞の後、尾池和夫総長の祝辞、磯田文雄文部科学省大臣官房審議官、堀場雅夫堀場製作所最高顧問、上原 任京



都市副市長などの来賓祝辞によって花添えられて式典が行われた。また、祝賀会では長尾 真前総長、猿渡知之京都府副知事の祝辞、柏原康夫京都銀行頭取の乾杯で祝宴が始まり、新しい高度専門職業人教育を目的とする経営管理大学院の発足を祝った。

(大学院経営管理研究部・経営管理教育部)

医学部附属病院第3回運営顧問会議を開催

医学部附属病院では、5月12日(金)に第3回運営顧問会議を開催した。

最初に、内山 卓病院長から、「京大病院の現況」として、平成17年度事業実施報告および平成18年度事業計画を始め、平成19年3月に着工が予定されている「寄付病棟(新病棟)」の概要、病院経営の安定化への方策等についての説明が行われた後、出席委員との意見交換が行われた。

当日は、佐村知子京都府副知事、村田純一京都商工会議所会頭、川端真一元京都新聞編集委員および野崎治子堀場製作所人事教育部長の4名の委員が出席され、約1時間に涉った意見交換では、産科および小児科の医師の不足や僻地医療対策等、最近の医療を取り巻く社会情勢にも話題が及んだが、会議全



病院の現況について説明する内山病院長

体を通じ京大病院の今後の在り方等についての貴重な意見や助言があり、京大病院にとって有意義な機会となった。

(医学部附属病院)